

千葉県北西部地震

災害発生日 ●平成17年7月23日

主な被災地 ●関東地方

首都圏を襲った中規模地震 都市機能停止など課題残す

週末の夕方、中規模地震が首都圏を襲った。幸いにも被害は軽微だったが、首都機能はマヒ状態となった。交通機関のトラブルはもとよりエレベーターの停止など、インフラ面で今後には様々な課題を残した。

人的被害は負傷者38人。
住家被害は一部破損12棟。



震源地は地震多発地帯 政府は初動体制の確立急ぐ

7月23日16時35分、千葉県北西部を震源とした地震が発生した。震源の深さは73km、地震の規模はマグニチュード6.0だった。週末を襲った地震は、川沿いの地域で地盤が軟らかい東京都足立区伊興で震度5強を観測。都内各地や埼玉県、神奈川県でも震度5弱を計測した。

東京都区内で震度5が観測されたのは1992年以来13年ぶり。震源地である千葉県北西部は、太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界付近で地震の多発地帯だが、首都圏内で発生した強い地震であることから、政府は初動態勢の確立が重要と判断。事態を重くみて、通常の官邸連絡室ではなく、緊急事態として対応する対策室を設置した。

ライフラインほぼ正常 エレベーター停止に市民騒然

物的被害が目立ったのは、エレベーターへの閉じ込めである。東京・千葉・埼玉・神奈川の首都圏では、エレベーター閉じ込めが78件発生、消防署が出動し、救助に平均50分かかり、最長170分を要した。また、地震時管制運転装置が始動したエレベーターの復旧が翌日までかかったという例もあった。

ライフラインでは停電のほか、ガス会社が設置するマイコンメーターが地震で作動、自動的にガスが遮断された。

地震発生直後に鉄道はマヒ状態 帰宅困難者の問題が浮き彫りに

地震は首都圏の交通を瞬時にマヒさせた。JRだけでも計30線区間、約1200本が運休となり、44万人の足に影響が出た。

JRの復旧には3～4時間程度もかかり、京葉線は線路点検のため地震発生から7時間後の23時35分まで運休した。同線内で東京ディズニーランドの最寄り駅である舞浜駅では、100人以上が始発まで駅で一夜を明かすこととなった。

JRだけでなく、地下鉄の東京メトロも復旧まで4時間程度かかった。

中規模程度で交通マヒを起こした今回の地震で、首都圏の交通機関が地震に弱いことがわかった。今後はインフラ面を中心に大都市における地震対策が急務となった。

▼地震の揺れでタワー型立体駐車場から約10メートル落下した乗用車（東京都江東区）〔写真提供/毎日新聞社〕

